

## 新入生作品展「アーキテクト展」のご案内

建築を夢みて大学に入学して2ヶ月、新入生による学生作品展を開催いたします。

滋賀県立大学環境建築デザイン学科1回生(第19期生)51人による展覧会「第7回アーキテクト展」のご案内です。学外の方々もご覧いただけます。

みなさまのご来場をお待ちしております。



掲載写真は、過年度開催時の展示風景

**【会場】 滋賀県立大学 交流センター (滋賀県彦根市八坂町 2500)**

**【会期】 2013年6月12日(水) ~ 6月25日(火) (なお土日は閉館)**

**【開館時間】 午前8:30 ~ 午後5:00**

### 【第1展示：個人制作】 EL PUENTE

環境建築デザイン学科に入って最初の制作は立体造形。“puente”とはスペイン語で「橋」のことです。与えられた条件は、

- 910mm 離れた2つのテーブル間をつなぐ構造物。
  - 1kg以上の重りを載せてもつぶれない。
  - 材料は、「30cm角のケント紙20枚」と「のり」のみ。
  - ケント紙は、切り離さない。折りや切りこみのみ。
- 用・強・美をそなえた51作品です。

### 【第2展示：個人制作】 ARCHITECTS

環境建築デザイン学科1回生おののにおに与えられたコードネームは、世界の建築家の名前だった。1回生51人がすべて別々の建築家を担当し、その建築のイメージを、2次元で表現した作品群。大学図書館を早速フルに活用し、本と雑誌を探し出す。ドローイングあり、建築図面あり、ディテールあり。材料に工夫を凝らしたポスターが目白押し。

### 【第3展示：共同制作】 フラードーム

実物のフラードームが出現します。アメリカの建築家・バックミンスターフラーが考案したジオデシックドームは、すべて三角形からできています。単純図形が連続する美しさと、力学的な明快さ。部材は「ベニヤ」と「スタイロフォーム」、接合は「結束バンド」のみ。直径8m、高さ3mのフラードームの中に入って、その空間を体験してください。

●出展作品は、滋賀県立大学環境建築デザイン学科1回生前期の演習科目「イメージ表現法」にて、今年4~5月に制作した作品です。

#### ■お問い合わせ先

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町 2500  
滋賀県立大学 環境建築デザイン学科 轟 慎一  
電話 0749-28-8283 FAX 0749-28-8533  
E-mail [todoroki@ses.usp.ac.jp](mailto:todoroki@ses.usp.ac.jp)